

「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」イベント（2021年5月開催）報告書

5月16日（日）、に行われました「としま・まちごと福祉支援プロジェクト」の市民参加イベントのご報告です。緊急事態宣言の延長された中での開催は、予約申し込みのキャンセルもあり、参加者は少人数となりましたが、テーマとしている「コミュニケーション」としては講師との深いコミュニケーションがはかれた会となりました。

「元ヤンキーが教えるコミュニケーション術」のゲストスピーカーは、共生サロン南池袋で健康麻雀の打ち子のボランティアや、ワンデー居酒屋を主催してくださっている藤塚知也さん。藤塚さん自身も当事者として、東村山市で障害をもつ人やその家族のために「ローズケア」という団体を立ち上げ、「健常者には理解してもらえないことなどを一緒に考えていく」集まりを開催されています。

「元ヤンキーが教える…」という衝撃的なタイトルがつけられましたが、それは“キャッチ（引き付け）”で、リアルにヤンキーではなかったそう。このタイトルもコミュニケーションテクニックの1つで、3つのテクニックを教えてくださいました。

- ① 「単独接触効果」…繰り返しの大切さ、たとえば相手の名前を5回くらい呼ぶ
- ② 「フォローアップクエスション」…されると相手が心地よい質問をしよう
- ③ 「動作／リアクション」…心のこもったリアクションが一番大切！

これらをトレーニングするには「まず、絵本を何度も朗読してみよう」、「自分のエピソードを紙芝居にしてみよう」といった、とても理論的なコミュニケーション術を生活に身近な事例を解説しながら教えてくれました。

藤塚さんがコミュニケーションツールとして取り出したのは、カードゲーム形式になっている「ウミガメのスープ」。ご存じですか？ 相手が「YES」「NO」「関係ありません」の3つの答えしかしない質問を投げかけながら、物語を推理していくというクイズのようなものです。これは「水平思考（＝問題解決のために既成の理論や概念にとらわれずアイデアを生み出す方法）」を養ってくれると、いまちょっとブームになっているそうです。初めてやってみたら難しくて、全然

質問すべきことが思い浮かばない！ 冷や汗をかきそうな自分がいました。ふだん、普通に思考できていると思い込んでいる人ほど、やってみると新しい自分を発見できるかも知れませんよ。

https://youtu.be/u9XO_R_dG_U

「共生ハウスや共生サロンに興味を持った」「麻雀や居酒屋に興味があり、また来たい」

「健康がテーマの講座をやってほしい、恋愛講座もあれば参加したい」「共生サロンを自分主宰の講座で利用したいが予算オーバー、参加者を10人呼べるようになったら使いたい」など参加者から寄せられました。

